



日本共産党松浦市議会議員  
**安江ゆう子の  
市議会だより**

9月議会

## 安江市議の一般質問

日本共産党の安江ゆう子市議は定例9月市議会で、志佐川の洪水対策、福島診療所の薬剤購入問題について一般質問しました。

### 福島診療所の薬剤購入、市の内部調査では限界

安江ゆう子市議は、6月議 診療所の薬剤購入問題について、9月議会でも福島 て質問しました。

#### 問題の本質

福島診療所の前所長の告発は、K前々所長が平成19年から25年までの7年間にジェネリック薬剤を熊本の卸問屋・永代から高い値段で買い続け、本来診療所の収入にならないければいけない薬価差益が得られず、診療所の経営に損害を与えたというものでした。

年度から25年度までの平均のジェネリックの購入額は数字的にも高い数字が出ていると、これは認めざるを得ない(副市長)と言いながら、問題はないと言いつつも、6月議会で市は、1社から高値でジェネリック薬剤を購入し続けたK前々所長の行為に問題が無かった根拠として、次の3つの理由を上げていました。

#### 問題がないという市の根拠

第一に、当時ジェネリック医薬品を扱っている所が身近になかった。第二に平成21年頃はジェネリック医薬品の出始めだった。第三にジェネリック医薬品は現在より高い値段で取引されていた。

#### 職員の証言の裏付けはなし

前事務長の証言によれば、平成19年から25年までの間に長崎県にも佐賀県にもジェネリック医薬品を扱っていた薬問屋は1社もなかったという事になります。こんな非常識な証言が、なんの裏付けもなく簡単に取り上げられているのは驚くばかりです。

安江 そしたら、その職員が言った、ジェネリックは1社だけだった、その裏付けは調査されたんですか。

副市長 納入していた他の薬屋さんがジェネリックを当時取り扱っていたかどうか、そこところについては詳細な報告は受けていません。

#### 他の4社もジェネリックは扱っていた

K前々所長の時に熊本の永代以外に長崎県と佐賀県にある4社の薬問屋との取引がありました。

安江議員はその4社の営業所を訪問し聞き取りをしました。どこの営業所も、大

変慎重な言い回しながら、全ての営業所が当時ジェネリックを扱っていたと明言しました。

#### 第二・第三の根拠も崩れる

副市長は武部周清議員の質問に対し、次のように答弁しました。「出始めという表現はやはり正確ではなかったというふうな思っております。正確に表現すれば、普及し始めたころであったというふうなことになるうと考えております。」(副市長)

また、高い値段で取引されていたという事については、「薬価が現在よりも高かった」と納入価を、誰も問題にしていない「薬価」にすり替えました。

#### 再調査をせよ

安江 外部有識者に調査を行って貰う考えはありませんか。

市長 その必要性について内部で改めて検討したいと思

福島診療所

